

2026年5月14日

自由民主党「物流調査会」  
～安定的な国際海上輸送の確保・外航海運の国際競争力強化  
に向けた要望について説明～

一般社団法人日本船主協会

2026年5月14日、自由民主党「物流調査会」（会長：井林辰憲衆議院議員）が自民党本部で開催され、国会議員約20名と国土交通省海事局をはじめとした政府関係者、当協会を含む海事関係3団体が出席した。

冒頭、井林会長から「物流関係予算は補正予算に頼っている部分も多い中、夏の骨太方針策定に向け、基金等を含め十分な予算措置が必要と考えているため、忌憚のない意見を伺いたい」と挨拶があった後、日本内航海運組合総連合会、日本長距離フェリー協会、当協会から要望説明を行った。



井林会長による挨拶



要望説明する長澤会長

当協会からは長澤会長が出席し、国際物流維持に不可欠なシーレーンの安全確保やトン数標準税制や日本籍船要件の抜本見直し、更には令和8年度末に期限切れを迎える国際船舶に係る登録免許税・固定資産税の特例措置を含む、我が国外航海運の国際競争力強化・海事産業群の強靱化などについて支援を求めた。

当協会は、我が国海運業界が国際競争力を発揮し、安定的な国際海上輸送により日本の経済と暮らしを支えるインフラ機能を果たし続けることができるよう、今後も関係方面に対して働きかけを行っていく。



会議の様様